

とだやしやうどう
戸田屋正道

春の感謝祭

開催期間 **2/21金・22土・23日祝・24月振**
5時30分閉店 6時閉店 5時30分閉店 5時30分閉店

1日限定 **40個**

たっぷりの県産卵を使い、サトウキビのコクと味わいが感じられる和三盆生地

上質な甘さとなめらかな舌触りにウツリ〜

北海道産の生クリームを独自にブレンドし、生地を引き立てるすっきりとしたクリーム

香川県産の和三盆糖を贅沢に使用した生地、北海道産の生クリームをたっぷりとロールしました。シンプルが故に、ごまかしの効かない、素材の良さと職人の技術が詰まったロールケーキです。

和三盆ロール

1,620円の品 **1,404円** (税込) **春限定**

かわいい耳は甘酸っぱいイチゴ♡

2月22日はねこの日

4日間限定

世の猫好きの皆様へ贈る売り出し期間限定のプリン。

底に隠れた自家製粒あんが、プリンとクリームに絶妙にマッチします。

上部には生クリームがたっぷり

舌触りなめらかなカスタードプリン

戸田屋自慢のつぶあんが隠れているよ!

ねこプリン

1個 **432円** (税込)

季節の御挨拶

店主 戸田健志

日頃より戸田屋正道をご愛顧賜り誠にありがとうございます。立春も過ぎ、暦の上では春を迎えましたが、最強クラスの寒波が街を雪で覆い尽くし、道路脇に寄せられた雪が消える日はまだまだ先になりそうです。山形の長い冬はまだしばらく続きそうですが、それでも春の足音は少しずつ近付き、太陽の温かさを感じる瞬間も増えてきました。世の中は終わりの見えない過剰な物価高や、それに伴うインフレなど、不安の尽きない日々ですが、春のお菓子はそんな心に癒しを与えてくれる香り高いお菓子がたくさんあります。桜の爽やかな香りに、蓬のふくよかな香り。苺の甘い香りなど、皆さんの心に一抹の安らぎを感じて頂けるようなお菓子を取り揃えて、この度も、春の感謝祭を開催させていただきます。

お客様へ日頃の感謝を込めて、このご時世にも、皆様へ少しでもお求めやすい価格で美味しいお菓子を楽しんでいただけるよう、精一杯ご奉仕させていただきますので、年度末のお忙しい中とは存じますが、是非とも足をお運びいただけますようお願い申し上げます。皆様のご来店をスタッフ一同心よりお待ちしております。

◎戸田屋の情報をいち早くゲットでき、お得な期間限定クーポンや、お年玉割引券などが使えるおかげファンクラブのライン登録を是非よろしくお願い致します!

LINE おかめファンクラブ登録はQRから▶

山形県産のつや姫粉とマンゲツモチの餅粉、さらに山形県産の蓬を使ったオール山形な春の新商品です。たっぷりの蓬の香りと、粒あんの相性は間違いなし!

草つみ餅

3個 **594円** (税込) **春限定**

当店自慢のバタークリームに、桜の花びらを寄せ、もなかに詰めました。桜のほんのりとした塩気が、大納言粒あんの美味しさを引き立てます。

桜塩バターもなか

216円の品 **1個 194円** (税込) **春限定**

もうすぐ嬉しいひなまつり。戸田屋の菓子でお祝いしましょう♪

桃節句菓子 いちご大福

346円の品 **324円** (税込)

桜もち

桜もち・うぐいす餅 **238円の品 216円** (税込)

桜道明寺 **270円の品 248円** (税込)

うぐいす餅

桜道明寺

人間が好き、お菓子大好き!

品質責任の証

当店では、磯部晶策氏(岩波新書「食品を見分ける」著者)の提唱する磯部理念に基づいた菓子づくりをしています。

お客様に心の底から喜んでいただける徹底した菓子づくりと、お客様の後ろ姿に「どうぞお幸せに」と祈りの販売をすることにより、品性を蓄えることを当店の理念としております。

業 道 専 心
戸田屋正道
とだやしやうどう

〒990-0032 山形市小姓町1番32号 定休日/水曜日
午前9時～午後6時30分 (土曜日 午後6時閉店、日曜・祝日 午後5時30分閉店)

TEL.023-622-6728 FAX.023-634-6728

※掲載された価格はすべて税込みの価格です。
<http://toda-ya.com>

❖コロナ感染症対策を実施しており、混雑状況に応じて入場制限を行っております。❖

戸田屋の駐車場が広くなりました

お客様に大変ご不便をお掛けしている当店の駐車場が、ちよっぴり広くなりました。合計14台のスペースが確保できましたのでまだまだお気をつけてご駐車くださいませ。尚、近隣のご迷惑となりますので、路上駐車や当店以外へのご駐車はご遠慮頂きますようご協力お願い申し上げます。

Interview

おかめあんぶくろ

講談を通して、
伝統芸能の魅力を伝えたい

社会人講師 織さゆ（佐藤 小由利）さん

高校時代は、山形県芸術文化協会の会長を務めた大谷駿雄先生ご指導のもと演劇に打ち込み、全国大会で優勝するなど、演じることの魅力に取り憑かれていました。社会人となり、仕事や結婚を機に演劇の世界から一時離れていましたが、庄内映画村で「庄内藩殺陣乃会」が発足したという新聞記事を目にし、夫を誘って見に行ったこ



山形県生まれ、グラフィックデザイナー、山形殺陣乃会 紅蓮羽子デザイン、社長講師、講師サロンの運営係。

とがきっかけで、再び演じる世界へと戻ることになりました。講談との出会いは、偶然目にした講談番組でした。何気なく見ているうちに、その世界にぐいぐいと引き込まれ、自身の活動にも活かせるのではないかと興味を持ちました。しかし、山形には講談を教えてくれる先生がおらず、真打の神田香織先生がスカイプで稽古をつけてくださると知り、すぐに連絡を取りました。こうして2016年、「講談サロン香織倶楽部」に入会し、現在も月に一度お稽古をつけていただいています。

戸田屋さんとは、夫が仕事をいただいたり、娘が「おかめ」のシールをデザインさせていただいたことがきっかけで、徐々に交流が深まってきました。そんな中、夫が戸田会長に、私が講談を始めたことを話したところ、ロータリーで披露する機会をいただき、お付き合いが始まりました。



戸田屋正道
おかめ新聞

早春号



おかめマークは、創業者のおばあちゃんの似顔絵です。戸田屋正道のイメージにぴったりなので、イメージキャラクターに採用しました。今ではすっかり戸田屋正道のブランドイメージになっています。

毎月18日は
戸田屋の日

毎月その日だけの限定お菓子や、ポイント2倍など、嬉しいイベント満載! ぜひお見逃しなく!

隠居日和

隠居 / 戸田正宏

生き甲斐のある人生とは

かつて、ある研修会会場の口ビーに「自分の花を咲かせよう」という垂れ幕が掲げられていたのを記憶しています。「小さな花でもいい、自分の花を咲かせよう」と垂れ幕が語り掛けていました。そんなことを思い出しながら今回は難病で寝たきりのSさんという人をご紹介します。

Sさんは全身関節炎で十年以上寝たきりですが、「どんな小さなことでもいい、何か自分でも出来る事はないだろうか?」と考えました。そして、天啓のように点字のことを思いつきました。「わたしは体のほとんどは動かさないが、目が見えるし本も読める。本が読めても読めない、目の不自由な人のために点字を習って本を届けよう。」

彼女は左手の少しだけ動く親指に筆をくくりつけてもらい、点字を一点一点打っていきまし。不思議なことに、それから人差し指が少し動くようになり、右手の指もいくらかずつ動くようになり、さらには筆をくくりつけなくても字が打ち込めるようになりました。一点一点と打ち込み、一冊一冊と増えていきました。そうして百冊を超える立派な点字本が、光を失った人たちに光を与えたのです。

編集後記

昨年末から年始にかけて人手不足もあり、本当に忙しくさせて頂きました。店舗リニューアル後もたくさんのお客様にご愛顧頂き、おかげさまで売り上げも順調に推移していますが、この原稿高は全く予想も出ず、なかなか経営は苦戦を強いられています。そんな中、年末から学生さんのアルバイトが2名入って頑張ってくれています。とても明るく仕事もテキパキとこなしてくれる子たちで本当に助かっています。当店の歴史の中でも、困難な時代は何度となくありましたが、いつの時代も、人に恵まれ、助けられてきたとつくづく感じます。今働いてくれている社員も、皆忙しい中楽しんで仕事に励んでくれています。そして4月からは高校卒業後に当店で働きたいという子が一人入社予定です。戸田屋が好きで、戸田屋のために尽くしてくれる社員の方には本当に感謝が溢れ、なんとか給料面や福利厚生で恩返しをしていきたいと思っておりますが、まだまだみんなが満足してくれるような雇用はできていないかもしれません。この困難な時代をどのようにして生き抜いていくかは全て経営者次第。今こそ私の経営手腕が問われているような気がします。どんなに時代が変わっても、先代たちが築いてきた不变のものをしっかりと守り貫くことが大切だと今改めて自分に言い聞かせています。